

「町長と話そう、まち育て」タウンミーティング 第5回議事録要旨
(中原の豊かな自然を守る会)

日 時：令和5年7月5日 15時00分～16時25分

場 所：中原庁舎2階研修室

テーマ：・民具（生活用具）の保存・展示について
・ロウ工場の資料の保存・展示について
・偉人・功労者の整理と公表について
・ふるさとの歴史を子ども達に伝えたい
・長崎街道（岡崎屋）の動き（署名後）について

出席者：中原の豊かな自然を守る会 11名

岡町長、江頭副町長、学校教育課、社会教育課、産業支援課、事務局（総務課）

1 開会

2 自己紹介

3 注意事項

4 議題

(中原の豊かな自然を守る会 A)

限られた時間で、いろいろ中身のある話をしたいと思っています。私どもが活動する中で、町に対し、こうしてもらえればありがたいといったことや、自分たちが率先してやって取り組まないといけないということが、たくさんあると思います。そういうことを、この席で浮かび上がらせ、皆さんの共通認識にできたらと思っています。

民具の保存と蠟工場、蠟の指導やふるさとの偉人、このふるさとみやき町、中原の歴史を子どもたちに伝えたいという思いがあります。また、長崎街道の岡崎屋の保存活動署名があり、1600人ぐらいの署名が集まり、町に提出したということを知りましたが、そのあとの動きが伝わってきません。

そういうことも含めて、町のお気持ちを聞かせていただければありがたいですし、また私どもの思いも、重ねてお話できればと思っています。

(岡町長)

1個1個のテーマで話していけば、皆さんご意見が出るでしょう。まず、民具の保存展示と蠟工場の資料の保存展示は、大体似たようなお話になりますか。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

中身はかなり重複してくる部分があります。功労者の顕彰とかそれも含めてふるさとの歴史の一部です。では、お話をお願いします。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

まず民具の保存展示についてです。例えば農耕の用具や漁業の用具などの保存がされていないのではないかと考えています。以前、西原倉庫^{*1}の2階に一部保存されていたと思いますが、引っ越しのときに全部整理されているようです。他市町の事例で申し訳ないのですが、多久では民俗資料館に相当の量を収納してあります。みやき町では、田植えの農具用品などの古い物はほとんどありません。知り合いに聞くと、既に処分したと言われました。昔からの生活用具、農耕用具などが失われていくのが非常に残念で、何とか保存展示してもらえないかと思っています。強く希望していますが、いかがでしょうか。

(岡町長)

民具については、東佐賀病院にある昔の病棟を、文化財の倉庫に使わせていただいています。その倉庫に、西原倉庫に入っていた分は、大体入れ込んでいます。処分はあまりしていません。

(職員 A)

よほどボロボロになってしまっていた物以外は処分をしていません。

(岡町長)

処分してないものの、西原倉庫に入れている段階でかなりの年数が経っており、その倉庫に入れていた物を移動させましたが、入れっ放しという状況です。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

そうですね。この件に関して私も老人クラブで関わっていますが、子どもたちに昔の生活用具や生産用の農具、そういったものを見せて、実際に体験活動をやっていました。先ほど言われましたが、だんだんと処分されています。それで、前の中原小学校長と長年掛け合っ、やっと1コーナーだけ収納する場所をいただいています。しかし、みやき町の歴史の一環としてそれを展示する専用の場所があってもいいのではないかと思います。他の町には、その土地独自の資料館のような、その一端が垣間見える施設がありますが、みやき町は、まだそういった動きが全く見られていません。もっと地元の歴史を大事にして、後世に伝えていくことを考えていただきたいという思いが強くなってきています。

(岡町長)

合併前の旧3町のいずれもそういう資料館や展示館というのは持っていませんでした。

合併後も、今のところ作るという動きは、出ていなかったと思います。私も、もともとそっち方面の人間ですので、作りたいという気持ちは若い頃から思っていました。

ただ、後はタイミングの話で、みやき町の資料館を作るのであれば、みやき町の特色が出なければいけないと思っています。そういうところを考えたときに、綾部城の本格的な調査し、綾部城に国の指定をいただくことを最終目標にして、動いていきたいと考えています。長いスパンになりますが、みやき町らしい資料館や展示館などをどうですかと住民に諮る、一番いいタイミングだと思っています。メインは、綾部城の歴史を学べるような施設で、昔の農具とかが展示され、見たり体験できたりできるようなコーナーがあったりというものが、今のところ私の思い描く夢です。

今、農家さんのご自宅にある農具を集めておくことも可能ですが、場所がありません。今保管している倉庫は既に満杯です。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

ただ、このままにしておくとも散逸してしまう。もう時を失ってしまったら、いくら探しても残ってない可能性があります。

(岡町長)

2番目の話と少し関連してくるかもしれませんが、例えば、蠟工房の資料などは、まさしくみやき町の特徴だと思います。蠟工房をどうされるのかは、その家の問題ですが、残すという話になれば、町としても何かしら将来の展示に向けて、保管をしておくようなことを考えていかないといけないというのは、考えていました。最近は行かれていますか。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

最近、私たちも行っていない。今はそういう雰囲気ではありません。ただ、このまま放置しておく、町としての宝が散逸してしまうのではないかとこの気持ちがあります。ご家族の気持ちを確認しながら進めないといけません、まだ今はその段階までいっていません。ただ、私たちとしては一緒に蠟絞りをしていましたので、私たちが生きているうちに、次の世代の人にそれを繋ぎたいと考えています。別の形ででも次の世代に、燵や蠟燭など、そういった中原に伝わった文化の一つを、次の世代にお伝えしたいと思います。今は中断していますが、中原小学校では13年間、蠟燭体験教室をやりました。これがまた復活できれば、みやき町の特色の一つとして、子どもたちは他所と違った体験ができ、非常に良いと思います。

(岡町長)

絞るために機械を固定したり、うまいこと蒸したりできるように、いろいろ試行錯誤されて設備を整えられてありますので、思い入れもあるかと思っています。また、体験活動は小学生にとって、本当にいい体験だと思っていたので、継続ができるようにお話をしたいと思

います。設備関係でもう一つ大きな話をすると、煙突があります。あれは文化財としては貴重ですし、J R 中原駅を利用している人たちにとっては、シンボルのようなもので、心の現風景みたいなものだと思います。

前にお話したかもしれませんが、天吹酒造さんが国の登録文化財になったときに、あわせて蠟工房の煙突と江見瓦の工場の煙突 2 本の 3 本が候補に挙がっていました。国の登録文化財にする場合は、所有者の承諾が必要ですので、それを説明しに行った時に、国の登録文化財になれば、扱うのに規制があり簡単にいなくなるため、自分の代でそういう縛りを作ってしまうのはというような回答でした。あのとき承諾いただいていたら、登録文化財になっていたと思います。そういった経緯もありますから、歴史的な価値はきちんとあるものだという事は理解していますので、煙突をどうするのかについても、いずれ話さなければなりません。その時は、役場だけで蠟工房に行くと、堅苦しくなるかもしれないので、一緒に活動されていた会員の皆さんも合わせて、相談役みたいな形でお話する際に一緒に入っていただくと、安心して合意点が見いだせるのではないかと思います。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

先ほどは民具だけの話に特化して言いましたが、私が言いたかったのは、民具はもちろんですが、道具の使用とか功績者のいろんな資料とか、ふるさとの歴史とか、こういったものを含めて総合的な資料館や展示館などができたらいいなというような意味で言わせてもらいました。

それと、こんなこと言ったら失礼かもしれませんが、ふるさと納税を各地区に配られていたと思います。その一部でも、資料館などを建設する資金として回せるのであれば、そうしてもらいたいという希望があります。

(岡町長)

予算の調整というのは、今後の課題です。ふるさと納税も制度が少しずつ変わってきています。総務省のルールができてからは、前のように稼ぐ自治体は減りました。それでもみやき町は、一昨年が 27 億、昨年が 23 億でした。

また、ふるさと納税はいろんな経費がかかります。返礼品代で 3 割、ふるさと納税のサイト利用料だけで 1 割かかります。基本的には半分程度しか残りません。30 億稼いでも 15 億しか残らないのが、今のふるさと納税です。

つい最近も、総務省がいろいろルールを変更しますというようなお知らせが来ています。今後も総務省のさじ加減で全国のふるさと納税の寄付額が伸びたり落ちたりということになりそうです。貴重な財源ですのでしっかりやっていますが、今の一番の悩みの種が、普通に町の予算を成立させるのに、当初予算ベースで 12、3 億のふるさと納税を使っています。逆に言えば、12、3 億のふるさと納税がないと、通常の町の予算が成立しないということです。何が言いたいかというと、今みやき町の行政サービスがかなり肥大化しているのが現状です。これを圧縮したいのですが、例えば、ふるさと納税の地区の交付金は、私

が町長になる前から始められていた交付金ですので、区長会から必ず要望が出ます。そこを減らしますとか、やめますというのがなかなか難しく、そこが今のみやき町の最大の課題です。皆さんが見えないところで、普通の役場の予算の中に12、3億分のふるさと納税が混ざり込んでいて、それがないと、12、3億分のサービスを減らさなければならない状況が、今のみやき町です。ですので、何かに新しくお金を使うときは、相当な調整をかけないといけません。その調整などの予算の圧縮はまだできていません。ただ、地区の交付金については、再来年以降は見直しますと伝えてあります。そうなってくると、その財源で言われていたようなことを実現することも、可能性としてはゼロではありませんが、あとはきっかけが必要です。さっき言ったように、ふるさと納税で稼いでいるように見えますが、年に12、3億、ふるさと納税を使っています。経費が半分かかっていますので、24、5億稼がないと、役場の一般会計が成り立たない計算です。もちろん過去からのふるさと納税を貯金していますが、これが50億あったとしても、1年1年20数億稼がなければ、この貯金から使うことになります。例えばふるさと納税が10億であれば実入りは5億しかありません。そうだったら、この貯金が1年で7、8億ぐらい減ります。この貯金を使い切ったらどうするのという話ですが、そこが今一番問題です。この後の話にも繋がってきますが、岡崎屋の話もあります。歴史資料館の話と、岡崎屋の話と、どっちが先なのかというような議論も当然しなければいけないですし、その辺りのバランスを住民さんの声を聞きながら決めていくことになると思います。

例えば、持丸古民家で1億ぐらい改修費用がかかっています。岡崎屋も基礎のあたりは持丸古民家と全く一緒に、石に塚柱が乗っているだけです。改修工事しようと思えば、今の耐震基準をクリアしなければなりません。持丸公民館では2000万程度が基礎工事です。改修をしなければいいのですが、改修する以上は、今の基準に合わせなさいというルールがあります。例えば、岡崎屋にそういうちょっとした展示コーナーを作るとか、岡崎屋の奥の方の倉庫のところに展示コーナーを作るといったことが可能なのかなど、いろんなパターンを想定していかなければいけないと思います。

今年の11月には焼却場が鳥栖市の真木町に行きますが、リサイクルプラザは5年後の令和11年まで残ります。ただ、そのあとの利活用はまだ決まっています。そういったところで使えるのか使えないのかなど、いろんなところを多角的に、いかにお金のかからない方法も含めて、検討していく必要があると感じています。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

ざっくりばらんな話でいいということですのでお尋ねしますが、ふるさと納税はすでに地区に配られていますか。私はこれに不信感を感じています。あまり必要ないという地区もあると聞いたことがあります。使い道がないような税金の配分の仕方はよくないと思います。

(岡町長)

私が町長になって、均等割と世帯割という考え方を導入し、2年目には金額に多少の差は

出るようになりました。いろんなご意見がありまして、区長会の中で話をすると、人口ではなく、面積だという意見もあります。この補助金のスタートとしては、行政がなかなか道路や水路などの整備ができずに順番待ちを強いていたことにあります。要は町の優先度としては低いものは、地区が独自に整備してくださいということでスタートしたものです。それもあって、本来は行政がやるべき仕事でもあるわけです。その辺りをどう考えるかというのをこれから2年ぐらいかけて見直しますと区長の方々に言っています。廃止する代わりに何か違う補助金を使いやすくするとか、どういう方向になるか分かりませんが、議論していく予定にしています。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

ふるさと納税の補助金を、各地区で工事費として使われていますが、何に使ったかというような報告は役場にありますか。

(岡町長)

もちろんあります。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

そして、そのことを各住民に知らせたかという、指導までしていますか。結局、何に使ったか分からないという方もいます。税金でありながら、何に使われたか分からない。その辺りまで指導すべきではないかと思います。

(江頭副町長)

補助金という形になっていますので、申請書を出してもらおうようにしています。申請書に実績として写真もつけてもらっています。また、地区の役員会の議事録を出してもらい、地区の総意だということで確認しています。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

それは協議などで決められたかどうか分かりませんが、一般の住民に知らせないわけです。役員の方は知っていると思いますが、ですので、その辺りまで役場として、住民の皆さんには知らせてください。回覧板でもいいです。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

私も区長の経験ありまので、皆さんの言われることよく分かります。要するに、こういうことに関して、税金を出した以上は、どのように使ったかを地域住民に啓発しているか、そのチェックまでできたらご指導いただきたいということです。役員だけで協議して、役場へ報告するだけでなく、地域住民にも分かるように、周知するようという感じをお願いしたい。

(岡町長)

地区内で話し合いをした議事録の資料は求めています、総会の開催までは求めていなかったと思います。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

回覧板でもいいですよ。周知すれば皆さん納得するでしょう。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

総会の時に、このように使いましたという報告だけでも良いわけです。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

本当は区長や役員が自分たちですべきことだと理解していますが、地域住民に知らせるようにご指導いただきたい。

(岡町長)

今のような話は町長になってから、ずっと耳に入っています。なかには「うちの区は何をしているか分からん」というような声も聞いています。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

そういうような、何に使うかという話を耳にしたもので、今回言いました。ふるさと納税を使って、資料館などの施設を作ってもらえれば、学校の子どもたちの教材にもなると思います。

(岡町長)

そういったものを作るのであれば、いいものを作りたい。みやき町はそういう資料が結構充実しています。偉人伝も作っていますし、古い地名を調べたような報告書などが充実していると思うので、子どもたちに教える、伝えるという部分で、利活用していけると思います。ただその場所がないので、それを将来考えていこうというのは、至極当然ですので同意しますし、作ると決まった時にはいい施設を作りたいと思います。偉人や民族、歴史のなどが勉強できる施設で、みやき町の特色が出ている施設にしたいと思っています。地域の魅力や特性をより出すような歴史博物館や民俗博物館にするというのが、主流になっていますので、それを目指して、ここに行けばみやき町のことが勉強できるというような施設にできれば良いと思います。

将来的に考えてはいきたいと思いますが、岡崎屋の話もありますし、もっと大きな話をすれば、水害対策にもこれからお金がかかります。水害については今年、調査業務をしています。そもそも江口や三根などの水のたまり方はどうで、一番ネックになっているところほど

この部分で、どういう対策をすれば良いのかというのが、今年の調査業務で一定程度出てくると思います。そうなってくると、それをいち早く、対策を取れば取るほど浸水被害が減るわけですので、当然そこにもお金が必要になります。また、最近、役場の中で議論をしているのは、学校施設の老朽化です。場所によっては待ったなしの学校があります。そうなったときに、長寿命化で延命するのか、建て替えた方が良いのか、そういう選択を迫られます。三根中学校はまだ建って10年ぐらいで、まだ新しいからいいのですが、三根中学校残した残りの6校を単純に全部建て替えたとすると、びっくりするぐらいのお金がかかります。何十億ではなく、何百億の世界です。そういうことも踏まえて、どういうやり方がいいのかを含めながら、検討していかなければいけません。話が大きくなればなるほど、お金がかかるという話が山積みになってきています。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

維持管理にも費用がかかります。

(岡町長)

そう考えたら学校施設は大きいです。令和8年度ぐらいまでは、みやき町は子ども数が増える予定です。子育て世代がどんどん転入されています。推計では、あと3、4年ぐらいは増加傾向が続きます。そのあとは、現状維持か減少するのか分かりませんが、今は少なくともあと3、4年ぐらいは増加傾向続きます。その中で、学校施設の改修のところをどう進めていくかという話も、これからしていかなければなりません。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

町長、それとあわせて、今、新しく家がものすごいペースで増えています。特に私は、原古賀地区ですが、原古賀地区は子どもが倍増するぐらい増えています。ということは、それだけ若い世代が、家建てて住んでいるわけです。アパートもありますが、それに伴うインフラはどうなるのか感じています。また、私たちがホテル追いかけていた場所が何か所もつぶれてしまっています。

(岡町長)

旧道はなかなか拡幅などがしづらくなっています。例えば、中原停車場線、中原駅から綾部神社に行く道を拡幅する場合、特に中原小までの間は、両側にべったり家が建っていますので、立ち退きは何軒発生するか分かりません。東側にちょっと大きめの道で、風の子保育園の横にバイパスができています。旧道で困るのは、旧道で道が狭いのに交通量が多いというのが、一番困ります。ですので、バイパスを作ることによって、この旧道の交通量を減らすというようなことが、みやき町には必要になってくると思っています。風の子保育園の横の道は長崎街道までで、それから、南がまだ開通してない状態です。その道を北茂安の方まで伸ばしていかないといけません。私は、大きな幹になるような道路は、まちづくりにすご

く大切だと思っています。交通量があるしっかりした道路を整備すれば、町主導で、住宅を建てなくとも、民間が勝手にやってくれると思っています。しかし、棲み分けが必要で、守るべき風景をどう守っていくか。こういう話は特に中原エリアには必要になってきますが、そういう網掛けもまだみやき町ではできていません。ただ、都市計画は最近、都市計画を引いていた自治体が少し緩めてきています。時代の流れでかもしれませんが、都市計画に縛られすぎると、田舎のとはずっと田舎ということになり、それはどうだというような議論も出てきていますので、バランス見ながらになってくると思います。自然を守るエリアや発展させるべきエリアを選び分けしながら、民間の開発を誘導できるような、みやき町であるべきだと思っています。

(中原の豊かな自然を守る会 C)

みやき町文化財保護審議会の時にも申し上げましたが、文化財の保護法が数年前から変わっており、文化財保存活用地域計画、文化財全体のマスタープランを作ってくださいという動きが出ています。みやき町総合計画の中でも、文化財のところに地域計画に言及する文言がありました。文化財には埋蔵文化財、景観、天然記念物など、相当幅ありますが、みやき町内に散在しています。それらをきちんと調べて、まず体系的に把握し、それを将来に向けてどう保存、活用するかというマスタープランを作る必要があるのではないかと考えています。文化庁の動きでも、大きな改革が起こっており、今までは保存、展示を中心に行っていましたが、これからは活用について、特にその中でまちづくり、観光、景観などとリンクした文化財保護行政を進めるという話が出ています。マスタープランを作っておくと、担当者が変わっても計画はなくなりません。時間はかかると思いますが、例えば10年20年の間には、それなりに実施されていくと思いますので、こういうプランをお願いしたいと思います。

(岡町長)

町の総合計画に書いてある以上はやるつもりです。急ぎはしないと言われましたが、書いている以上はやらなければならないと思います。これに書いていることは実行していきますということで、リリースしていますので、しっかり議論をしていきたいと思ひますし、ぜひそこで麻生先生にも協力いただければと思っています。

おそらく綾部城は国の史跡になります。ただ、時間かかります。鳥栖の勝尾城で発掘調査を始めてから、国の史跡になるまで20年くらいかかっています。鳥栖市の動きはずっと見ている、そのくらいの期間が必要になると考えています。少なくともちょっと掘って、国に申請して、はいどうぞというような話にはならないと思いますが、国の史跡になるのは間違いありません。国の史跡になるということは影響力があります。外からの来訪者をふやすという意味では、大きな力になると思います。

それを中心に、綾部をどう盛り上げるのかとか、香田とか、山田がどうやっていくのかというようなプランを作っていけると思ひますし、町内に点在している長崎街道であったり、

白石焼きであったり、江見の町並みであったりをどう繋いでいくかという話も多分できると思います。今後、そういった話を盛り上げていければと思っています。

佐賀県や佐賀市は教育委員会が改革されており、教育委員会では学校のことしかやらなくなっています。もともと教育委員会には社会体育、生涯学習、文化財などがありましたが、これらが知事部局、市長部局に移管されています。それはまさしく、知事部局に行くことによって、例えば観光など、いろんなところと連携して考えて、動けるようにされています。おそらく、そういう流れは、今後出てくるとしています。みやき町がどうするかは、まだ決断してないですが、いい動きができるということになれば、検討していきます。文化財は単に見て学ぶだけでなく、人を寄せる材料にどう活用するかという視点が必要です。吉野ヶ里遺跡とかでも、ライブで発掘したりしていて、あれも人にどう注目してもらうか、興味を持ってもらい、そして来てもらうかという視点であるようなことをやり始めていると思います。そういった視点をしっかり入れていかなければならないだろうと思います。そんなそういう動きができてくると、その山田の風やまわり園、綾部の浮立などの祭りともリンクできるのではないかと思いますので、しっかり進めていきたいと思っています。

最後に岡崎屋の話ですが、現状としては町に署名が出て、保存をすべきという動きは認識しています。ただ、執行部としては、議会に対する同意をどう取っていくかが課題です。もちろん署名いただいた方々は諸手を挙げて賛成だと思えますが、それ以外の方々に、町としてこれ保存し、有効活用すべきだという合意をどう取っていくかということです。気になっているのは、やはり持丸古民家がうまいこと使えてないという現状で、担当課とも話をし、これからこ入れしていこうと協議しています。議会としても持丸古民家の二の舞になっては駄目だという雰囲気になるだろうと思いますので、岡崎屋は、プラスアルファでしっかりしたプランを持って行かなければ、なかなか難しいのではないかと議論をしています。利活用のところが一番肝になってきますので、もうちょっと煮詰める時間をいただきたいと思います。所有者さんからはお譲りするというご意向はいただいていますので、それを今更反故にはできないという認識は当然持っています。あとは利活用のプランを考えてから改修の中身っていうのを固めていく必要があると考えています。単に観光の拠点とかっていうところだけでは、まだ弱いので、何かプラスアルファの利活用プランがないといけないと考えているところです。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

中間報告でもいいからですので、出せる部分を出していただけるとみんな安心します。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

長崎街道の利活用については、一つは整備することによって、お客さんが来るというような効果もあるのではないかと考えています。例えば、福岡県の木屋瀬は町全体で綺麗に整備しており、あのように整備してやると、お客さんが寄って来ます。

(岡町長)

それでいくならば、単に岡崎屋の整備だけでなく駐車場どうしようかというような議論も必要です。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

そうですね。駐車場は必要です。

(岡町長)

街道沿いにお金を落としてもらえるようなショッピングができる場所など、そういう仕掛けも必要になります。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

それについては、第三次総合計画の分野別ヒアリングの中で、その話が出たかと思いません。

(岡町長)

夢を語る部分の仕掛けというのはしっかり打ち出せるように、仕込んでおかないと、実行に入った時に上手くいかずに頓挫するという話になり、いわゆる持丸古民家の二の舞にならないようにする必要があります。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

もう一ついいですか。蠟工房の煙突についてです。町としては、今後どういう風に考えられていますか。

(岡町長)

やっぱり文化的な価値を認めてから、保存はどうしようかという流れになると思います。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

その辺りの調査はされる予定でしょうか。

(岡町長)

登録文化財の時に一旦、専門家には見てもらっています。県の文化財の一級建築士で、文化財の修復に詳しい方に一遍見てもらっています。工房の煙突は会社の歴史でいつ建ったなどの記録もはっきりしているので、そういった意味で、登録文化財には、いつでもなれそうだということまでは話をしていたと思います。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

指定は可能ですか？

(岡町長)

そういうのは一定程度、もう結論は出ています。しかし、それを指定するには所有者の同意が必要です。

(中原の豊かな自然を守る会 B)

所有者の方と会長さん、町の方と三者で話をされたらどうだろうかという話をしていました。

(岡町長)

その件はもうさっき、私の方からも言いましたが、私も蟬工房の方が落ち着いた段階で話に行きたいなと思っていますので、その時はぜひ会長さんが同席してもらおうと、和やかな雰囲気でもいい結論が出ているのかなと思っています。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

ちょっと時間は来ていますが、なかなか言う機会がないもので、よろしいですか。この中にも原古賀（はらこが）って呼んでいる方がいらっしゃるかもしれませんが、私たちの住んでいる地区は原古賀（はるこが）です。ところが、原古賀（はらこが）と言う人の方が多くなっていて、小学生あたりに原古賀（はるこが）と言うと、「原古賀（はらこが）だよ。先生が言っていた。」と言うわけです。やっぱり、本来の呼び方にするには、いろんな場面で原古賀（はるこが）が正しいということをPRしていかなければいけないと思っています。歴史的、国語的には少し調べておりますので、そういう何か講習会とか何とかで、話す機会があれば、30分ぐらいいただければ、なぜ原古賀（はるこが）かという話をしたいと思っております。

(岡町長)

地名の由来ですか。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

そうです。踏切のところのタンクのようなものに、「はらこが」と平仮名で書いてあります。子どもたちがそれ見て「はらこが」と書いてあると言うわけです。もう一つ、向こうの踏切は簗原（みのぼる）ですが、クサカムリ「蓑」を書いて「みのはら」って書いてあり、漢字も読み方も間違っています。簗原区長さんどうしてあるか分かりませんが、原古賀は区長さんから役場に要望が出してあります。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

私が区長になったとき書き直すよう言いました。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

それから通瀬橋も、もともと「道」ではなかったのですか。「通」と「道」と、今は信号機の標示は「通」だけども、西鉄のバス停は「道」になっています。同じ「ずうせばし」ですが。

(岡町長)

川の名前は「通」なんです。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

「通」ですか。

(岡町長)

河川の名前が「通」の「通瀬川」ですね。ただ、あそこにかかっている橋の名前は確か「道」の道瀬橋です。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

北茂安のことはあんまり調べていませんが、中原のことは調べています。

(岡町長)

原古賀（はるこが）はもう、会長から重々聞いております。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

役場職員でも、地元の原古賀（はるこが）に住んでいる人でも、「はらこが」っていう人が多分多いです。今のように、どんどん新しい人が他所から来たら、小さい地区の名前は変わってしまう。中原（なかばる）は JR 中原駅があって「なかばる」と書いてありますので、多分変わらないと思います。やっぱり、地名には歴史がありますので、「はるこが」と皆さん読んで欲しい。

(岡町長)

役場の方では間違わないように職員に注意喚起をしていますので、大分認識はしていると思いますが、再度、呼びかけをします。

(中原の豊かな自然を守る会 D)

一番は、小学校の先生方に徹底してもらいたい。学校で、子どもの頃に教えられたことはずっと残ります。学校教育が一番大事じゃないかと思います。

(中原の豊かな自然を守る会 E)

岡崎屋の話をしました。今、長崎街道は草がいっぱい茂っていて通れない状態です。

(岡町長)

旧道の方ですね。

(中原の豊かな自然を守る会 E)

はい。何とかありませんか。

(岡町長)

あれ里道ですよ。

(職員 A)

そうですね。地区の方での管理をお願いしています。

(岡町長)

三養基高校のそばの部分ですね。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

はい。里道は町の管理ではないのですか。前は国の管理でしたが。

(岡町長)

今、基本的に里道は、草刈などの通常の管理については、区にお願いしています。区でも、確かに負担になるような作業があるようなときにはご相談いただいておりますが、通常の草刈などは、区にお願いをしているというのが里道の現状です。

(中原の豊かな自然を守り会 B)

区役で草刈りをしても、補助金は出ますので。

(岡町長)

その辺りは多分、長崎街道としての価値と意味で言われたことだと思います。あそこは東寒水ですね。

(中原の豊かな自然を守る会 E)

長崎街道歩こう会という団体があります。

(岡町長)

分かりました。その辺りは区と町で話をしてみます。

(中原の豊かな自然を守る会 F)

長崎街道の草が茂っていたら、みんな引き返していきます。それならもう、あそこに長崎街道の看板は必要ないという人もいるらしいと聞いています。せっかくなら、綺麗にしていた方がいいですね。

(中原の豊かな自然を守る会 A)

ボランティアを募って、定期的に草刈りとかですね。

(岡町長)

岡崎屋の件に少し関係してきますが、あの辺りの利活用を考えると、例えば、鹿島の浜宿みたいに、観光ガイドさんが観光ボランティアで組織されて、おもてなしできるような状態を保つなどがあれば大きいです。そういった、もう1個先の仕掛けも考えなければいけません。いろいろ岡崎屋の件も含めてですね、検討をしていきます。長崎街道の草の件はまた協議を進めていきます。

5 閉会

(事務局)

ありがとうございました。最後に町長から挨拶をお願いします。

(岡町長)

今日は本当に良い意見交換ができたと思っています。今後も、情報交換みたいなのは、今後も進めさせていただければいいのかなと思っていますので、ぜひ今後とも継続的によろしくお願ひしたいと思っています。また、こういう団体の方々が、活躍するまちがこの総合計画に書いている住民協働のまちだと思います。それは単に、こういう住民団体の方々が、頑張っているだけでなく、行政はそれに寄り添ってお話聞きながら、活動しやすい環境を作ることが、すごく大事なことだと理解していますので、ぜひこの中原の豊かな自然を守る会の活動が、今後もしっかり継続していただけるように、そして次世代がどんどん入ってくるように、また参加させていただければと思っています。本当にありがとうございました。

※1 西原倉庫：中原庁舎の西側にあった倉庫。老朽化に伴い解体。